

# Iコンタクト

ユビキタスな社会——。それはもう映画の中だけの遠い未来の話ではありません。  
私達が望むと望まざると、ユビキタスな社会はもうそこまでやっています。

すべての端末がつながる  
何にでもアクセス可能になる

便利になる！

逆を言えば・・・

つながりすぎる！

誰でも、いつでも、どこからでも  
簡単に情報をのぞく事ができる

「Iコンタクト」アイコンタクト  
I (自分自身) で  
コンタクト (接触) する。  
→コンタクトレンズ使用

ユビキタスとは？

ユビキタスとは、ラテン語で「遍在」  
「いつでも、どこにでも存在する」とい  
う意味です。つまり、「誰もが、いつで  
も、どこでも情報にアクセスでき、欲し  
い情報をすぐに手に入れられる」そんな  
状態の事をユビキタスと言います。

これから迎えるユビキタス社会では、  
現在研究が進められているIPv6を使う事  
によって、身のまわりのほぼすべての物・  
端末がつながるようになるでしょう。

すでに現在でも、ポットのスイッチを  
入れたかどうかを通知する事によって、  
離れて暮らす両親が元気にしているかを  
知る事ができるシステムがあります。そ  
の他にもお財布ケータイなど、すでに多  
くの企業もユビキタスに注目しています。

ユビキタス社会は そう遠い将来ではない  
のです。

セキュリティの徹底が必要！！

## パソコンというインターフェイスの落とし穴

●簡単に情報が手に入る

りすぎ

●現実味がなくなる

●ID、HN(ハンドルネーム)を複数もてる  
→他人になりすませる

●自分(相手)が見えない  
→個人の特定ができない

●表情が見えない  
→気持ちが悪く伝えられない

悪用すると・・・  
ハッカー、あらしの出現

パソコンに向かう「私」はホントの「私」?

このままコピキタスな社会を迎えると・・・

すべてのものがつながる!

誰でも、いつでも、どこからでも  
情報をのぞく事ができる

かってに

デジタル化されたデータには、  
罪悪感を感じない。

いつの間にか不正なアクセスを  
している場合が・・・

そこで、私達は考えた。

デジタル化されたデータに  
「自分」を持ち込もう!

個を確立しよう!

私は、私。誰かは、あなた。へ

個人を認識しながらコミュニケーションがとれるデバイスの提案

# 「Iコンタクト」

コンタクトレンズなのでお互いに相手の姿が確認でき、「自分と相手」という感覚を持ってコミュニケーションをとるため、デジタル化されていくデータを自分自身「個人」のことなのだとして認識する事ができます。

また、非常に小さく身につけることのできるデバイスなので、いつでもどこでも使えて持ち運びの不便がありません。

自分の視力に合わせたり、カラーを変えるなどして自分なりに楽しむ事もできます。ユビキタスを使ったIコンタクトは、普段の生活と同じ感覚で、「個人個人がモラルを持ってコミュニケーションをとるためのものです。」

その他にも「Iコンタクト」と同じ原理を使ってこんな物のまでコミュニケーションをとるためのデバイスの幅を広げる事ができます

差し歯

味覚情報



アクセサリー

ピアス・聴覚情報

指輪・触覚情報



<>

歩いた

歩行の記録



Iコンタクトとは？

コンタクトレンズ型デバイス

- 身につける物なので持ち運びの不便がない
- デバイスの共有を防ぐ
- いつでも、どこでも使用できる
- 相手の姿を確認できる

コンタクトレンズ

視覚情報  
記憶媒体

をつかってコミュニケーションをとる

たとえば・・・

～Happy Day編～



～N ザ エレベーター 上司と部下編～



このように「Iコンタクト」を使う事によって、ちょっとしたきっかけから今までになかった、「情報」と「私の情報」と「だれかの情報」を意志の疎通でつなぎ合わせる事によって「私の情報」と「あなたの情報」に変換されそこに新しいコミュニケーションが生まれるでしょう。

●Happy Day編

街中ですれ違った人が、実は自分と同じ誕生日だったと知ったら・・・。言葉は無くてもアイコンタクトで伝わる気持ち。

●N ザ エレベーター 上司と部下編

上司と部下、二人っきりのエレベーターの中で会話に困っても、共通の趣味を見つければ明るい雰囲気及早変わり。

Iコンタクト<sup>ミコイ</sup>で素敵な明日を！